

# おきなわ市日誌



## 【令和2年度沖縄市表彰被表彰者】 (敬称略・順不同)

### 【個人】

- 更生保護活動に尽力
- 地域福祉の向上に貢献  
城間 洋子
- 更生保護活動に尽力  
玉城 正夫
- 地域福祉の推進に貢献  
上江洲 幸子 普久原 慶子 辺士名 良子  
仲村 静子
- 社会福祉の向上に貢献  
幸喜 よせ子 島袋 禮子
- 地域医療、保健、福祉活動に貢献  
伊元 幸信
- 本市芸能文化の発展、後進の育成指導に貢献  
平良 須賀子 比嘉 エミ
- 地域福祉の向上に貢献  
高江洲 義裕 宮島 眞則

### 【団体】

- 公益のため私財の寄附  
東洋電気工事 株式会社

## 10/30 敬意と感謝を込めて

地域福祉や地域医療の発展、芸能文化の振興等に尽力し、市民の模範と認められる行為があった方々の功績を称える「令和2年度沖縄市表彰式典」が、沖縄市民会館中ホールで開催されました。

一般表彰の個人13名と1団体に、桑江市長から賞状と花束が贈られ、会場にはご家族や友人等が祝福に訪れました。

被表彰者を代表し、あいさつした城間洋子氏は「私だけの力ではなく、地域の皆さまの力のおかげでいただいた賞。これからも健康に気をつけながら、市のために頑張ります」と喜びを語りました。

## 11/5 教育への貢献に感謝

市民等の本市教育への功績を顕彰する「令和2年度沖縄市教育委員会表彰式典」が、沖縄市民会館大ホールで開催されました。

日頃の学習や児童会活動、あいさつ運動等に積極的に取り組み、他の模範となった児童生徒23名、学校教育、生徒指導等への取り組みに功績のあった職員9名、文化財保護や青少年教育、スポーツなどの各分野で尽力した個人20名と15団体に表彰状が贈られました。



児童生徒の部



職員の部



個人の部



団体の部





10/25 祝97歳 カジマヤーユーエー

市上地に住む山城清輝さんのカジマヤーパレードが、色鮮やかな風車等で装飾されたオープンカーで盛大に行われ、大勢の親族や地域の人等が、山城さんの晴れの日を祝い、長寿にあやかりました。

長寿の秘訣は、三線や陶芸、ウォーキング等多くの趣味を持つことと話す山城さんは、大勢の人が祝ってくれてうれしいと、笑顔で喜びを語りました。

10/17 輝く笑顔で輝くまちへ

高齢者自身の生きがいと健康づくりをすすめ、活力ある地域社会をつくりだすこと等を目的に活動している沖縄市シルバー人材センターの皆さんが、10月17日の「シルバーの日」に、中央パークアベニューと周辺の道路の清掃活動ボランティアを行いました。

総勢122人が、枯葉や吸い殻などの燃やせるごみ、空き缶などを回収しました。

参加者は「コロナ禍の中だからこそ、皆で清掃活動をして、元気なシルバー人材センターをアピールしたい」、「まちが綺麗になると気持ちがいいし、元気が出る」と笑顔で話しました。

毎年、10月1日から31日は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」となっており、さまざまな社会貢献活動や事業の普及啓発等を行っています。



10/7 「やさしさ」と「勇気」に感謝状

今年6月に路上で倒れていた男性の救助に貢献したとして、山内中学校2年生の當眞一綺さんに、沖縄警察署から感謝状が贈られました。

同校で行われた感謝状贈呈式で、幸喜一史沖縄警察署長は、事件や事故に遭遇した際、とっさに判断し、適切な対応を取ることには簡単なことではないと勇気ある行動をたたえ、人命救助への感謝の言葉を送りました。



こちろ 沖縄市立 郷土博物館

博物館では、いろんな実験をします。たとえば古い道具の使い方を調べるのに、実際に使ってみて記録しますし、捕まえた幼虫を育てて、どんな成虫になるか観察したりします。

郷土博物館で人気の実験は、縄文土器のレプリカを使った調理実習です。土器には、スイカが入るぐらい大きなものから、カップラーメンの器より小さなものまで、いろんな種類があります。

土器はおもに食べ物を煮たり、貯える器と考えられますが、それぞれの土器に合わせた食材や料理法を実験しながら探すのです。野草や貝や魚を煮てみたり、ドングリで甘酒ができるか試したり、土器のまわりに火を置いて土器を温めたり、簡単なカマドを作つて土器の底から火を当てたり、焼けた石を土器に入れて煮込み料理をしたり……寒い季節は、試食も楽しみのひとつです。

こうした実験の成果は、ドングリ試食会などの講座での体験、展示の説明に生かされます。もし博物館でゴソゴソやっている人を見かけたら、お気軽に「何やってるの？」と声をかけてください。

(学芸員・川副)





# おきなわ市日誌



## 11/4 日本の頂点を目指し戦う中学生

15歳以下の女子サッカーで全国制覇を目指すクラブチーム「casa Okinawa ale」の塩川健勇監督とミッドフィルダーとして活躍している沖縄東中学校2年生の高江洲凜さん等が、市役所を訪れ、比嘉教育長へK Y F A第25回九州U-15女子サッカー選手権大会3位入賞とJ F A第25回全日本U-15女子サッカー選手権大会へ出場することを報告しました。



## 10/19 コザ高校が県高校総体10連覇

令和2年度県高校総体で総合優勝10連覇を果たしたコザ高校の東盛敬校長、空手部主将で個人型等優勝の新城志さん、水泳平泳ぎ100mと200m優勝の新垣琳大さん、女子ソフトボール部主将の嘉手刈日陽さん等が市役所を訪れ、桑江市長を表敬しました。

また、男子総合優勝(6回目)、女子総合優勝(16回目)、水泳男子総合優勝2連覇、ソフトボール女子優勝2連覇、新体操女子団体優勝等の成績も収めました。

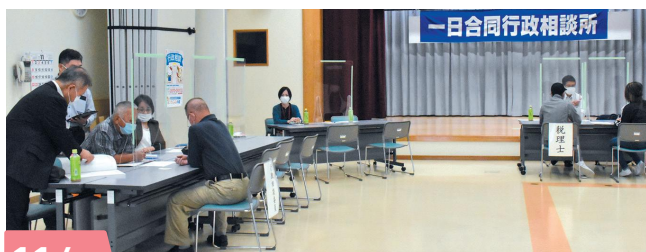


## 11/11 兄弟都市から本のプレゼント

NPO法人とよなか おきなわ応援団の大町裕次理事等が市立図書館を訪れ、図書を贈呈しました。

大町理事は「豊中市関連の本をきっかけに、兄弟都市のことを知り、市民交流に繋がっていくことを期待しています」とあいさつしました。

同法人は、今年から5年間、本市と豊中市へ毎年3万円分の図書を寄贈するプロジェクトを実施しています。



## 11/11 さまざまな相談に4機関が連携

沖縄行政評価事務所と沖縄市の連携による「一日合同行政相談所」を、沖縄市社会福祉センターで開設しました。

今回は、さまざまな新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、沖縄弁護士会、沖縄税理士会、行政相談委員、沖縄行政評価事務所が、市民からの意見や相談等への対応を行いました。

## 夜の動物園にも子どもたちの笑顔

開園50周年記念緊急企画「秋ZOOナイト」が、10月の毎週土曜日に沖縄こどもの国で開催されました。動物のエサ代支援となるアニマル提灯も販売され、来場者はあかりを灯しながら園内を散策しました。

また、11月7日には、特別企画として、国内外でも行われている障がいのある子どもたちとご家族を夜の動物園に無料招待するイベントDream Night at the ZOO in OKINAWAを開催しました。

涼しい秋風の中、期間限定で行われた夜の動物園に訪れた多くの家族連れが、日中とは違う動物たちの様子を楽しみました。







**10/24** 共に学び、共に備えよう

きらめきフェスタ2020「災害(復興)・防災と男女共同参画and with コロナ～災害対応力を強くする男女共同参画の視点とは～」と題した講演会を沖縄市産業交流センターで開催しました。

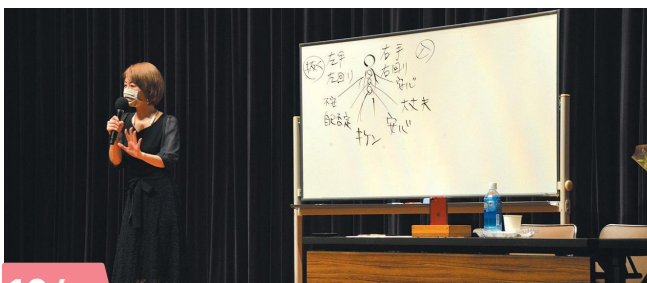
参加した61人の市民等は、男女共同参画や性別、立場による被災の違い等について学んだほか、新聞紙スリッパの作り方の実践などを行いました。



**10/15** 手を取りキャッシュレス化を推進

市内のキャッシュレス化の推進を図ることを目的に、沖縄市とPayPay株式会社による「キャッシュレス化推進に関する包括連携協定」の調印式が、市役所で行われました。

本市では、お会計の30%がキャッシュバックされる「沖縄市にエール！最大30%戻ってくるキャンペーン！」と併せ、キャッシュレス化を推進していきます。



**10/29** 自分にマル! 個性を輝かせる子育て

日本再育協会代表の長瀬ユカリ氏を講師に迎え、子育て講演会「個性を輝かせる時代～幸せに生きる力を育む共育～」を沖縄市民会館中ホールで開催しました。

長瀬氏は「親ができることは、否定しないことと経済力をつけること」とし、親自身が自分にハナマルをあげる、肯定することが、こどもへ安心・安全を与えることに繋がると話しました。



**10/19** インスタグラムでお店や商品をPR

市内事業者向けInstagram活用セミナー「ポスティングからインスタへ」初心者編3回講座を開催しました。

Startup Lab Lagoonでの3回目の講座では、Instagramプランナー譜久原あゆみ氏が「フォロワーとコミュニケーションをとり、継続的に行動することが結果に繋がる」と、効果的な情報の伝え方等について講義し、店舗や商品のPR方法を学びました。

**11/9** 緑豊かな「地元のオアシス」完成

市内124か所目の公園、美里仲原町にできた「美里なかばる公園」のオープニングセレモニーが、同公園内で行われ、桑江市長、みさと保育園とみはら保育園の園児等大勢の人が訪れ、公園の完成を喜びました。

セレモニーでは、桑江市長、久高唯文美里自治会長、代表園児等によるテープカットのほか、園児による風船飛ばし、ダンス等も行われました。





# おきなわ市日誌

## 11/5 大規模地震や津波から身を守る訓練を

市民や市職員の防災意識の啓発や防災体制の向上を図るため、市内各所で地震・津波等に対する沖縄市防災訓練を実施しました。

市役所では、感染症が蔓延している状況下での災害発生を想定した災害対策本部の運営訓練として、桑江市長をはじめ各部局長等が別々の場所から、タブレット端末を使用したWEB会議による情報共有等の訓練を行いました。

越来小学校では、火事や地震等が発生した際の教室からの避難経路の確認、防災に関するクイズのあと、午前10時の緊急地震速報に合わせ、全校生徒一斉に、机の下に入り身を守るシェイクアウト訓練と教科書や赤白帽等で頭上を守りながら避難する訓練が行われました。



## 10/30 国民健康保険制度の安定運営を目指して

国民健康保険制度の安定運営を図るため、「令和2年度沖縄市国民健康保険料徴収強化月間」開始式を市役所前市民広場で行いました。桑江市長が「更なる収納率向上に向け一丸となって頑張ろう」と職員を激励し、参加者全員で「頑張るぞ」と取組への決意を示しました。

沖縄市では、コンビニ収納や夜間窓口の設置、戸別訪問などにより、収納率向上に取り組んでいます。



## 10/19 緊迫感あふれる実践訓練

沖縄市特別救助隊が、10月19日から21日まで、市上地在の有限会社儀保建設工業（儀保忠代表取締役社長）の協力のもと、解体予定家屋を利用し、地震等の災害で倒壊した建物に取り残された被災者の救出を想定したドア開放訓練等の救助訓練を行いました。

隊員は「実際に破壊してみないと分からないことが多く、貴重な訓練だった」と話しました。



## 10/28 コザ地域慰霊祭

沖縄市コザ地域慰霊祭が、遺族や関係者が参列し、こどもの国公園内慰霊の塔で開催されました。

桑江市長が「悲惨な沖縄戦を風化させることなく、県内外へ広く平和を発信していく」と、比嘉弘一遺族会コザ支部長が「二度と戦争を繰り返さず、平和に暮らせる社会のため、次の世代に伝えていきたい」と述べ、参列者が参拝し、哀悼と平和への祈りを捧げました。



## 10/27 美里地域慰霊祭

沖縄市美里地域慰霊祭が、知花城跡慰霊の塔で行われ、沖縄市遺族会の諸見里安勝美里支部長や遺族会の会員、桑江市長、議員等が参列しました。

1分間の黙とうと龍福寺の岡本住職による読経の後、参列者による追悼のこぼと参拝が行われました。

知花城跡慰霊の塔には、2700余柱の戦没者が合祀されています。